

区自立支援協議会の特徴的な取り組み・成果及び今後の計画（令和 2 年 10 月）

| 区 | 特徴的取り組み・成果 | 今後の計画 |
|---|--|--|
| 北 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 北区・東区管内の相談支援事業所で情報を共有した。また、ケース検討を行い地域の課題を抽出した。 ■ グループ別検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 3つのテーマ（相談支援・地域生活拠点・療育）別に班を編成。それぞれの地域の課題等を検討している。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 相談支援事業所連絡会で抽出された課題を区自立支援協議会において共有し、地域での課題を把握。さらに解決の取組みを検討する。 ■ グループ別検討会において地域課題の解決を目指す。 ■ 研修会の開催。（詳細は今後検討） |
| 東 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 新型コロナ感染防止のため、予定していた 4 月、6 月は中止。これまで 7 月、9 月の 2 回開催。 ▷ コロナ禍での各事業所の対応の共有やサービス等利用計画案作成の演習を実施し、情報共有を行った。 ■ 「療育」「移動支援」「8050 問題」の 3 つのテーマについて、区協議会委員が班を分けて意見交換を行うこととした。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 相談事業所連絡会の開催 ■ ケース検討会の開催 ■ 「療育」をテーマとした勉強会の開催 |

| | | |
|-----------|---|--|
| <p>中央</p> | <p>■ケース検討会の開催 ▷ケース検討を通じた地域課題の把握と整理</p> <p>■相談支援事業所連絡会の開催</p> <p>■就労支援連絡会開催 ▷主に就労継続支援 A 型の事業所を対象</p> <p>■8050 連絡会 ▷昨年度行った 8050 実態調査から抽出されたケースについて緊急度に応じた訪問。圏域内包括との定期的な情報交換</p> <p>■サービス事業所連絡会 ▷区内事業所へのアウトリーチ（御用聞き）による課題把握。</p> | <p>■ケース検討会の開催 ▷ケース検討を通じた地域課題の把握と整理</p> <p>■相談支援事業所連絡会の開催</p> <p>■就労支援連絡会開催</p> <p>■8050 連絡会</p> <p>■サービス事業所連絡会</p> |
| <p>江南</p> | <p>■地域生活部会の開催 ・事業計画である「ひきこもり」支援の取組みについて検討</p> <p>■児童支援部会の開催 ・福祉と教育の連携をテーマとした事業計画の一部見直し検討</p> <p>■江南区ケース会議の開催 ・インシデントプロセス法によるケース検討及び、相談支援専門員の意見交換会を実施</p> | <p>■ひきこもり意見交換会（仮称）の実施 ・当事者及び、関係機関が参集</p> <p>■「トライアングルプロジェクト」研修への参加 ・放デイネットが主催する「家庭と教育と福祉の連携」について研修会に参加。 ・現場の先生との意見交換等実施検討</p> <p>■江南区ケース会議の開催 ・引き続き実施（下半期 3 回開催）</p> |

| | | |
|----|---|--|
| 秋葉 | <p>■障がい児支援</p> <p>▷支援ファイルの配付を継続し、活用方法を周知すると共に活用状況を把握</p> <p>▷区内小中学校、放課後等デイサービス事業所、相談支援専門員を集めた「障がい児つながる支援セミナー」の開催準備。 (※コロナウィルスの影響により、当初7月開催予定を12月に延期)</p> <p>■医療と福祉の連携</p> <p>▷医療的ケアが必要な障がい児者の家族が意見交換できる「集いの場」の来年度開催に向けた検討 (※コロナウィルスの影響により、今年度は開催中止)</p> <p>■地域の移動について</p> <p>▷実態把握(課題の整理)</p> <p>■区相談連絡会の開催</p> <p>▷月に1回、区内相談支援員が集まりケース検討または勉強会を実施。</p> | <p>■障がい児支援</p> <p>▷支援ファイルの配付継続・活用方法の周知</p> <p>▷「障がい児つながる支援セミナー」の開催(12/3開催予定)</p> <p>■医療と福祉の連携</p> <p>▷「集いの場」の来年度開催に向けた検討</p> <p>■地域の移動について</p> <p>▷実態把握(課題の整理)</p> <p>■区相談連絡会の開催</p> <p>▷ケース検討または勉強会の実施 <勉強会></p> <p>・ひきこもり相談支援センターの職員を講師に招き対応方法等を学ぶ(1月)</p> |
| 南 | <p>■地域生活拠点事業の取り組み</p> <p>・事業説明、情報共有により進め方を確認した。</p> <p>■児童のワーキンググループ</p> <p>・障がい児の各年代における課題の整理</p> <p>・関係機関合同研修会の開催</p> <p>・早期に介入できるネットワークづくり</p> <p>■南区ケース会議の開催</p> <p>・教育支援センターの役割について研修を実施。</p> | <p>■地域生活拠点事業の取り組み</p> <p>■児童のワーキンググループ</p> <p>・障がい児の各年代における課題の整理</p> <p>・関係機関合同研修会の開催</p> <p>・早期に介入できるネットワークづくり</p> |

| | | |
|----------|---|---|
| <p>西</p> | <p>■西区がく・ふく連携会議（学齢後期）の開催 ▷令和2年度の特別高等支援学校卒業生及びコロナ禍における各学校の対応等について、支援関係者間での情報共有を行った。</p> <p>■地域生活支援拠点班会議の開催 ▷西区において「障がいのある人が、安心して、生まれ、成長し、親亡き後でも、安心して住み続けられる地域」を構築していくには？について年度内3回の会議開催を確認した。第2回目は、「コロナ対策班会議」として、参加者を拡大し西区における新型コロナ第2波・第3波の障がい福祉領域対応について論議する予定。</p> <p>■グループホーム連絡会議の開催 ▷西(9)・西蒲区(2)にあるグループホームと相談支援事業所による意見交換会を行い、各グループホームの状況について情報共有を図った。GH9事業所が参加。</p> <p>■相談支援事業所会議の開催 ▷コロナ禍における課題等について意見交換を行った。また、地域生活支援拠点等事業などについて情報共有を行った。</p> | <p>■地域課題の解決に向けた、各専門会の開催 ・がく・ふく連携会議 ・コロナ対策班会議 ・高齢・医療連携会議 ・相談支援事業所会議 ・グループホーム連絡会議</p> <p>■見学会、研修会の実施</p> |
|----------|---|---|

| | | |
|----------------|--|---|
| <p>西 蒲</p> | <p>■がく・ふく連携会議の開催 ▷学校・福祉施設・療育支援関係者間で情報共有と関係づくりを行った。事業所紹介や取り組み内容、提供サービスなどを共有し、連携に向け取り組んだ。</p> <p>■生活支援会議の開催 ▷区内事業所等を対象に、新型コロナウイルス感染症対応に関するアンケート及び情報交換会を実施し、これまでの対応を振り返り、今後の課題を検討した。</p> <p>■西区・西蒲区グループホーム連絡会議(仮称)を西区自立支援協議会と共催</p> | <p>■療育支援会議 ・こども支援会議 ・がく・ふく連携会議</p> <p>■生活支援会議の開催 ▷地域生活支援拠点事業について事例検討を通し、地域課題を共有し、西蒲区のあり方を検討する。</p> |
|----------------|--|---|